

各種がん検診と対人検査の件数について

はじめに

▶前半は、令和4年～6年度の対人検査件数

- ・年度別の各種がん検診検査件数
- ・月別の対人検査件数の推移

▶後半は、業務の効率化と平準化

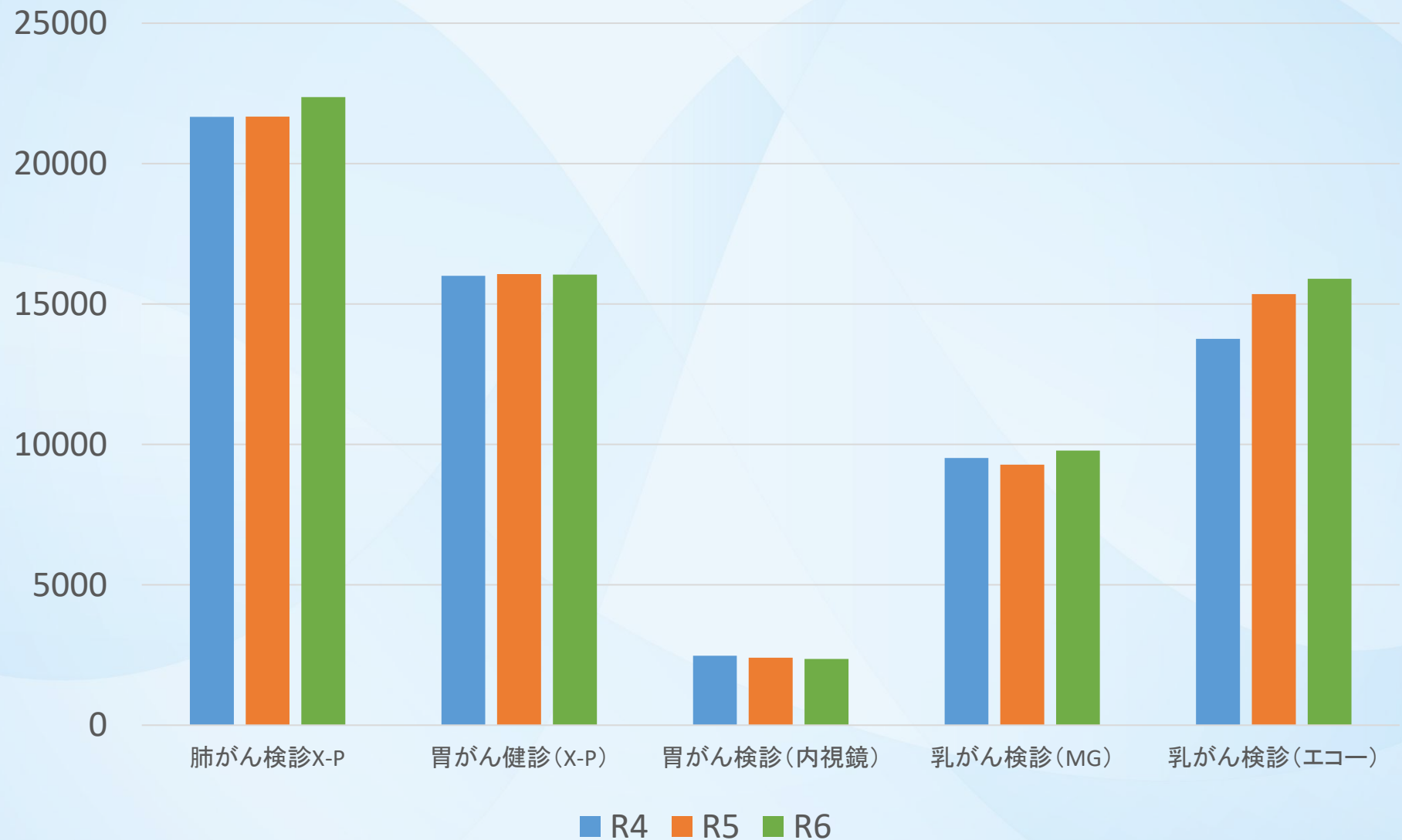
撮影機器の更新による

- ・撮影時間と待ち時間の短縮などサービス向上
- ・受診者数、検査件数の増加および効率化の向上

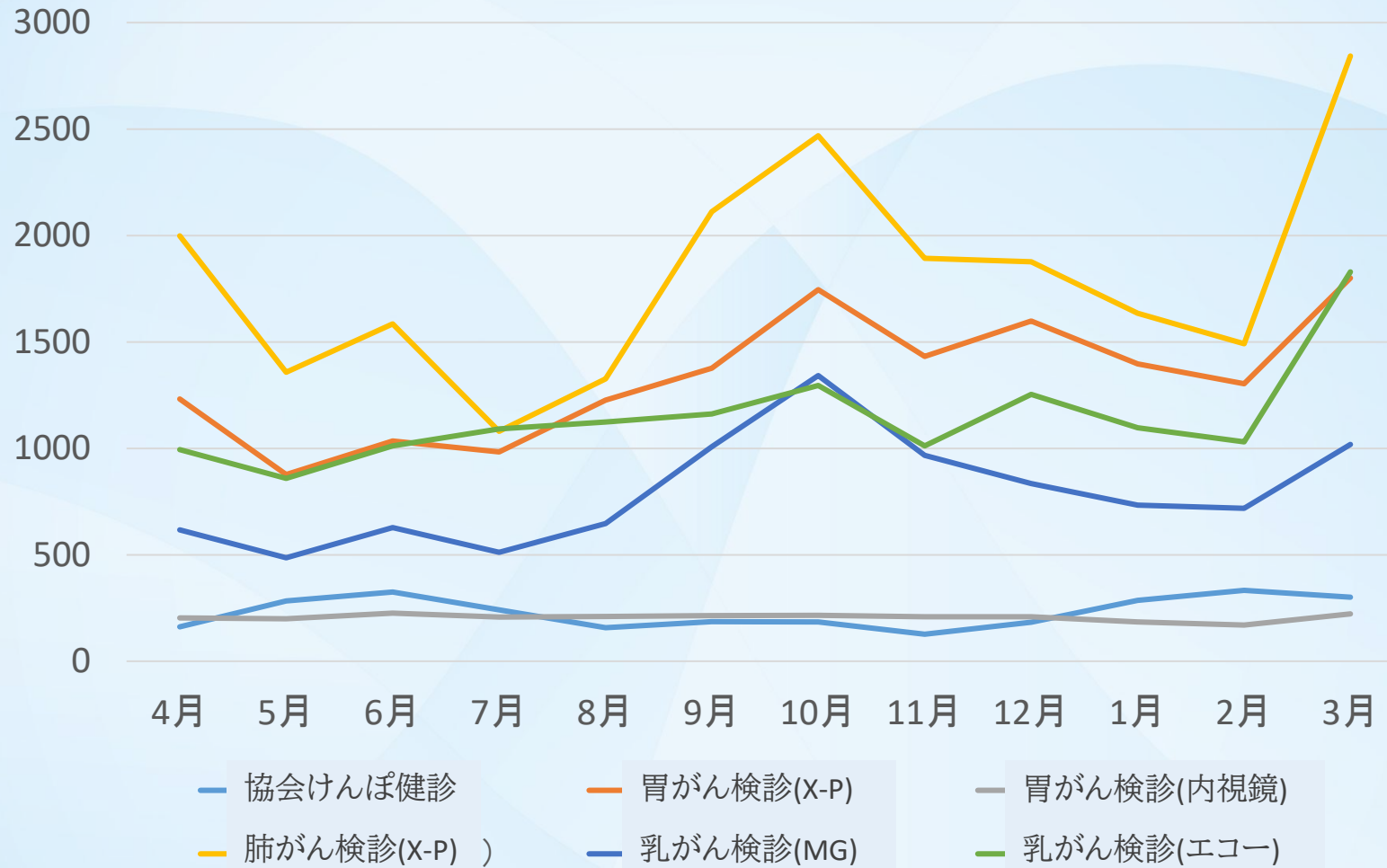
各種がん検診の検査件数(年度別)

	令和4年	令和5年	令和6年
肺がん検診(X-P)	21,663	21,671	22,366
胃がん健診(X-P)	16,006	16,065	16,048
胃がん検診(内視鏡)	2,472	2,400	2,359
乳がん検診(MG)	9,512	9,280	9,779
乳がん検診(エコー)	13,759	15,352	15,902

がん検診年間件数(年度別)

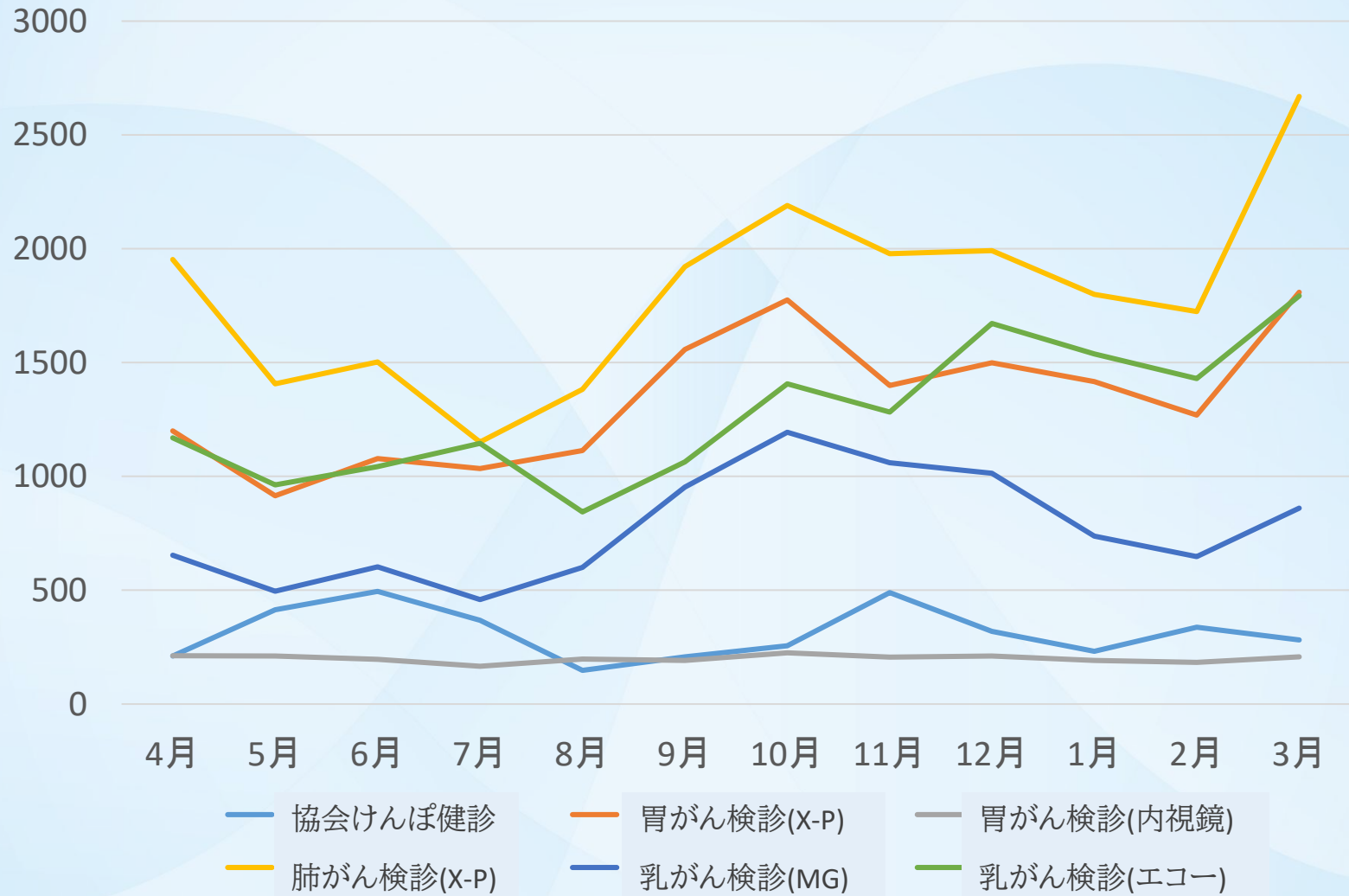


令和4年度月別検査件数



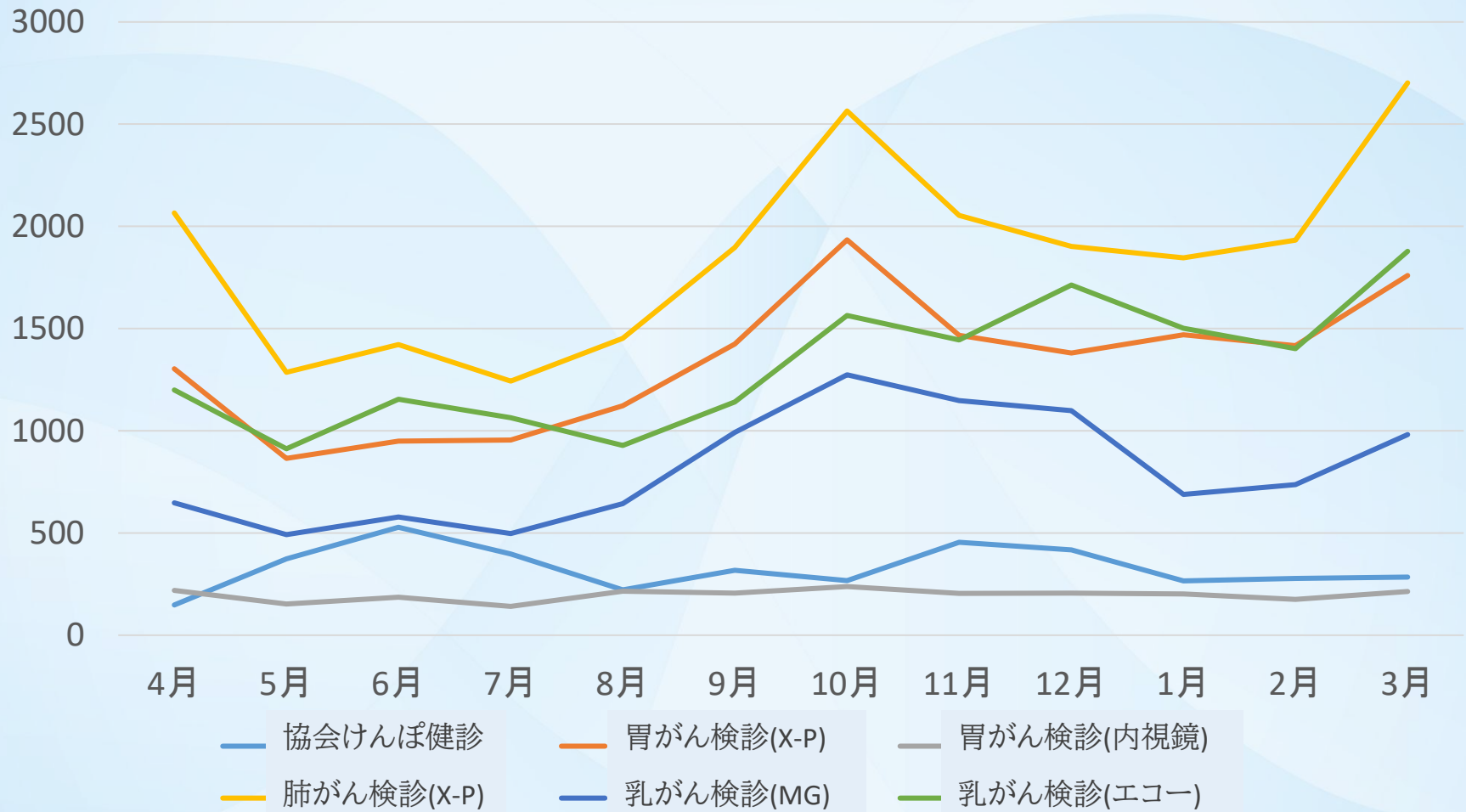
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協会けんぽ健診	162	283	325	242	157	186	184	127	183	286	333	301	2769
胃がん検診(X-P)	1232	877	1034	983	1227	1377	1746	1432	1598	1397	1303	1800	16006
胃がん検診(内視鏡)	204	200	226	207	210	215	216	209	209	184	170	222	2472
肺がん検診(X-P)	1998	1357	1584	1080	1327	2112	2468	1893	1876	1634	1491	2843	21663
乳がん検診(MG)	617	486	628	511	647	1008	1342	967	835	733	719	1019	9512
乳がん検診(エコー)	994	859	1012	1092	1124	1162	1295	1012	1253	1097	1030	1829	13759

令和5年度月別検査件数



令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協会けんぽ健診	211	414	495	368	148	207	256	489	319	232	338	282	3759
胃がん検診(X-P)	1200	915	1078	1034	1114	1557	1775	1399	1499	1416	1269	1809	16065
胃がん検診(内視鏡)	212	211	197	166	198	192	225	206	211	191	183	208	2400
肺がん検診(X-P)	1953	1407	1503	1151	1383	1921	2190	1978	1992	1800	1724	2669	21671
乳がん検診(MG)	654	496	603	459	600	953	1194	1060	1014	738	648	861	9280
乳がん検診(エコー)	1170	963	1043	1145	844	1064	1407	1283	1672	1538	1430	1793	15352

令和6年度月別検査件数



令和6年度													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
協会けんぽ健診	148	374	528	397	222	317	267	455	418	266	278	285	3955
胃がん検診(X-P)	1304	865	949	955	1122	1425	1934	1467	1380	1470	1417	1760	16048
胃がん検診(内視鏡)	219	152	186	141	215	206	238	205	206	202	175	214	2359
肺がん検診(X-P)	2065	1286	1422	1243	1452	1897	2565	2054	1902	1846	1932	2702	22366
乳がん検診(MG)	647	492	579	497	644	992	1274	1148	1099	689	737	981	9779
乳がん検診(エコー)	1200	912	1155	1064	928	1141	1564	1444	1713	1501	1402	1878	15902

対人検査件数のまとめ

- I 各検査の件数は概ね上昇傾向にあり、今後も検査件数の増加に繋げたい。
- II 月別件数では毎年2月・8月が検査件数が減少傾向。10月と3月には検査件数が増え、同等の上昇カーブを描いている。
- III 予約件数の減少傾向にある月に協会けんぽ健診の予約枠数を増加させるなどして件数の平均化を図りたい。

まとめ

- 検査機器の更新により検査時間の短縮と標準化に繋がっている。
- 月別件数のばらつきに関しては、分散化を目的とした広報等を行い、3月の件数集中を分散化をする仕掛けをつくる。
- 予約件数の平準化が可能となれば、常時平均化した業務が施行でき、さらなる医療安全の管理が可能である。